

小野市議会だより



亀鶴保育所

第394回 12月定例会

一般質問

- | | |
|----------|----------|
| かわしまみな | たかさかじゅんこ |
| ・河島三奈 | ・高坂純子 |
| こばやしちづこ | ふじわらあきら |
| ・小林千津子 | ・藤原章 |
| やまなかおさみ | まえだみつり |
| ・山中修己 | ・前田光教 |
| おかじままさあき | いのうえひよし |
| ・岡嶋正昭 | ・井上日吉 |
| かわなよしぞう | |
| ・川名善三 | |

■ ■ ■ 議会傍聴 ■ ■ ■

12月定例会 54人
(26年度累計 194人)

12月定例会 ー主な内容ー

- こんなことが決まりました…………… 2～4
- 一般質問の発言者…………… 5
- 一般質問の内容について…………… 6～10
- 常任委員会審査報告…………… 10
- 市民クラブ・公明党
会派行政視察報告…………… 11
- 議会の動き、賛否の公表、
3月定例会の傍聴案内…………… 12



12月定例会

こんなことが決まりました。

12月定例会は、11月28日から12月26日まで29日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定、人事案件などを含む議案22件を原案のとおり可決・同意・承認しました。

制定・改正された条例

小野市地域包括支援センターにおける包括的支援事業を実施するために必要な基準を定める条例の制定について

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」(第3次一括法)により、介護保険法が改正されたことに伴い、従来国が定めていた地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するための基準等を市が条例で定めることとなりその基準を定めようとするもの。平成27年4月1日から施行。

小野市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について

第3次一括法により、介護保険法が改正されたことに伴い、従来国が定めていた指定介護予防支援等に関する基準を市が条例で定めることとなりその基準等を定めようとするもの。平成27年4月1日から施行。

一般職の職員に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

人事院の給与勧告等に伴い、一般職の職員の給与等について、その勧告内容に準拠した改定等を行うおとするもの。公布の日から施行。(平成27年度に係る分は平成27年4月1日から施行)

特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び小野市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(反対討論あり)

特別職の職員で常勤のもの、期末手当及び議会の議員の期末手当について、

人事院勧告に伴う一般職の職員の給与改定に準じて改正しようとするもの。公布の日から施行。(平成27年度に係る分は平成27年4月1日から施行)

※主な改正内容

《期末手当の支給率》

	6月	12月	年度計	役職加算
改正前	1.900月分	2.050月分	3.950月分	15%
H26年度	1.900月分	2.200月分	4.100月分	15%
H27年度	1.975月分	2.125月分	4.100月分	20%

小野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

し尿取集に係る手数料について、北播衛生事務組合で処理を行っている他市(加東市、西脇市)の手数料との均衡及び下水道利用者との負担率の公平性等の面から見直し、50リットルあたり300円を400円に引き上げる一方、1日あたり200円の加算を廃止しようとするもの。平成27年4月1日から施行。

※一般家庭の1回あたりの平均収集量約350リットルで計算した場合での影響額 改正前…2,300

0円↓改正後…2,800円
小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

出産育児一時金の支給額について、産科医療補償制度掛金の引き下げに伴い、同制度に加入している分娩機関で分娩する場合に加算する額を引き下げるとともに、出産育児一時金の基本額を引き上げようとするもの。(加算後の総支給額は変更なし)平成27年1月1日から施行。

小野市立ひまわり園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(旧障害者自立支援法の改正)に伴い、障害福祉サービスの利用にあたっては「指定特定相談支援事業者」が作成する「サービス等利用計画」が必要となり、平成27年3月末までにサービス利用者全員に対し同利用計画を作成することになっている。ひまわり園の利用者に対しても同様にサービス等利用計画を作成する必要がある。相談支援員等の対応が整ったことにより特定相談支援事業をひまわり園の事業に加えようとするもの。平成27年1月1日から施行。

小野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

「中国残留邦人等の円滑な帰国の

促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」が改正され(平成26年10月1日施行)法の題名が「中国残留邦人等の円滑な帰国促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」に改められたことに伴い、入居者の資格基準規定中同法を引用している部分の規定を改めようとするもの。公布の日から施行。(平成26年10月1日から適用)

小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

児童扶養手当法が改正されたことに伴い同法の規定を引用している部分の条ずれ等を改正しようとするもの。(消防団員等公務災害補償を受けており、児童扶養手当等の併給が認められない場合には当該手当との差額の一部を支給する規定。)公布の日から施行。(平成26年12月1日から適用)

主な議案

小野市うるおい交流館の管理に係る指定管理者の指定について

小野市うるおい交流館の指定管理者を指定しようとするもの。

団体名 特定非営利活動法人北播磨市民活動支援センター

理事長 柳田吉亮
 期間 平成27年4月1日～
 平成32年3月31日

小野市都市公園の管理に係る指定管理者の指定について

小野市都市公園(図書館北広場)の指定管理者を指定しようとするもの。
 団体名 特定非営利活動法人北播磨市民活動支援センター
 期間 平成27年4月1日～
 平成32年3月31日

社会福祉法人に関する事務の委託の廃止について

第2次地域主権改革一括法により、平成25年4月1日から社会福祉法人の認可や指導監査等の権限が、県から市へ移譲され、主たる事務所が小野市の区域内にあり、事業所が小野市の区域を超えないものについては小野市が所管庁となっている。これまでは、地方自治法第252条の14の規定により兵庫県へ事務委託を行っていたが、平成27年度から市で当該事務を行うこととなったため当該事務の委託を廃止しようとするもの。

市内社会福祉法人数…16法人(保育所、社会福祉協議会、こもれび【栄宏福祉会】)

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

平成27年3月31日に石井滋規氏が

2期目の任期満了を迎えるため、その後任の人権擁護委員として推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるもの。

小野市池田町 木和田悦子氏
専決処分承認を求めることについて(平成26年度小野市一般会計補正予算(第4号))
 12月14日に投票票予定の衆議院議員総選挙に係る経費について、同院の解散日である11月21日付で専決処分したものを。

補正額 22,000千円 追加
 補正後総額 19,333,900千円

新都市中央線橋梁上部工工事請負契約について

契約金額 3億7,692万円
 契約の相手方 尼崎市西川二丁目15番13号 極東興和株式会社兵庫営業所
 所長 岡村浩二

意見書関係

・「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

・地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

補正予算関係議案

- ・「(仮称)手話言語法」の制定を求める意見書
- ・年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

この意見書4件は、採決の結果、可決されました。意見書の内容につきましては、小野市議会ホームページに掲載しています。

平成26年度小野市一般会計補正予算(第5号)

補正額 534,300千円 追加

補正後総額 19,868,200千円

平成26年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 1,000千円 追加

補正後総額 6,057,000千円

平成26年度小野市介護保険特別会計補正予算(第3号)

補正額 1,400千円 追加

補正後総額 3,737,500千円

平成26年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

補正額 300千円 追加

補正後総額 477,000千円

平成26年度小野市水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入

補正額 2,500千円 追加

一般会計補正予算の主な内容

今回の補正予算は、耐震性貯水槽や非常用電源等を備え、大規模災害時の広域避難場所となる(仮称)安全安心広場整備事業経費や、65歳以上の全高齢者を対象とした肺炎球菌予防接種経費及び社警察署の依頼に基づく危険箇所への防犯カメラ設置経費等を措置するものです。

また、豪雨により被災した公共土木施設及び農地・農業施設の災害復旧事業経費を追加しています。その他、人事院勧告に準拠した人件費及び賃金の改定経費等を措置しています。

平成26年度 一般会計12月補正予算概要

(単位：千円)

内 容	担当課	補正額	補正後
社会保障・税番号制度システム整備事業 中間サーバー拠点のプラットフォーム化に係る経費	情報管理課	981	21,597
過誤納及還付金等 納税額確定に伴う過誤納還付金の増	税務課	20,000	50,000
成人肺炎球菌予防接種経費 65歳以上の全高齢者への接種機会の確保	健康課	35,200	48,400
公共土木施設災害復旧事業 豪雨により法面崩落被害があった河川の復旧経費	道路河川課	5,000	5,003
農林施設災害復旧事業 台風11号による被災農地・農業用施設の復旧経費	産業課	4,000	4,003
防犯カメラ設置経費 社警察署の依頼にもとづく防犯カメラの設置経費	市民安全部	8,600	8,600
(仮称)安全安心広場整備事業経費 防災機能を備えた広域避難場所の整備経費	市民安全部 まちづくり課	470,000	470,000
特別支援学校スクールバス整備事業経費 老朽化によるスクールバスの更新経費	教育総務課	8,500	8,500
指定文化財改修等補助金 台風被害に伴う国指定文化財「八幡神社」の屋根修復経費	いきいき社会 創造課	1,950	1,950
人件費補正 人事院勧告等に準じた人件費の補正	総務課	28,924	3,088,042

補正後総額 1,332,500千円
補正額 2,350千円 追加
補正後総額 1,349,350千円
資本的支出

補正額 1,500千円 追加
補正後総額 1,253,150千円
平成26年度小野市下水道事業会計補正予算(第2号)

補正額 600千円 追加
補正後総額 1,877,600千円
資本的支出
補正額 200千円 追加
補正後総額 1,606,200千円
収益的支出



(ネットワークーマー編んだよ! 雪遊びに行こう!!!)
電鶴保育所

(一般質問は発言した議員が編集しました)

平成26年 12月定例会

市議会ホームページ内の「ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧いただけます。

HPアドレス：<http://www.ono-sigikai.jp/>

一般質問発言者

河島 三奈 議員

- ・小野市における人口シミュレーションについて
- ・特定不妊治療費助成事業について
- ・改正地方教育行政法について

高坂 純子 議員

- ・神戸電鉄の今後について
- ・交通事故防止対策について

小林 千津子 議員

- ・観光と地域産業の振興について
- ・子どもの交通安全対策について

藤原 章 議員

- ・「医療・介護総合確保推進法」と介護保険事業計画について
- ・河合小中一貫教育と学校教育について
- ・農業を守る施策について

山中 修己 議員

- ・里山整備計画について
- ・白雲谷温泉「ゆぴか」リニューアル計画について
- ・議案第87号 社会福祉法人に関する事務の委託の廃止について

前田 光教 議員

- ・粟田橋整備及び県道三木六栗線拡張事業の進捗について
- ・東播磨道整備事業の進捗について
- ・市制60周年を迎えた小野市の地方創生の理念について
- ・議案第69号 平成26年度小野市一般会計補正予算(第5号)について

岡嶋 正昭 議員

- ・農地の維持管理等について
- ・市営住宅建設への取組について
- ・中心市街地の活性化について

井上 日吉 議員

- ・安全で安心して暮らせるまちづくりについて
- ・認定こども園の取組について
- ・ひまわりの丘公園周辺の整備について
- ・新庁舎の建設について

川名 善三 議員

- ・産後ケアについて
- ・日常生活用具給付等事業について
- ・議案第69号 平成26年度小野市一般会計補正予算(第5号)について



改革クラブ

河島 三奈 議員

小野市における人口シミュレーションについて

質問 国と地方が地方創生に取り組むために人口動向を分析し将来展望をする、「地方人口ビジョン」と、今後5カ年における目標・施策を提示する「地方版総合戦略」の策定についての小野市の現在の状況は。

答弁 今後国が策定される「長期ビジョン」を受け、兵庫県で策定される「地方人口ビジョン」の内容を踏まえながら、小野市版を平成27年度中の策定を目指して進めていく。

策定にあたっては、小野市総合計画や子ども・子育て支援事業等の内容も踏まえ、人口減少を悲観的に捉えるのではなく、市民の主体的な取り組みにより更に地域が活性化するとポジティブに考え、その実現に向けた計画を策定することが重要と考えている。

(市当局)

質問 人口減少問題に対するために様々な世代の人員で構成した「人口問題対策プロジェクトチーム」を構築してはどうか。

答弁 現状の課題を踏まえる中で、計画策定にあたっては強みを活かした課題をチャンスに変え、更に未来志向の発想が必要であると考え、「人口問題対策プロジェクトチーム」の構築については、研究・検討としている。

(市当局)

特定不妊治療費助成事業について

質問 現在までの実績と広報・情報周知に関して今後の展開は。

答弁 助成を受けた方の妊娠成功率は55%以上と高い結果がでており、年々利用者が増加し必要性も高まっている。現在、市の広報やHP等で行っている情報周知の仕方、更に相談しやすい環境体制をより一層充実させるために工夫及び研究に努めている。

(市当局)



市民クラブ

高坂 純子 議員

神戸電鉄の今後について

質問 基本協定に基づく平成24年度からの財政支援の状況と、平成26年度支援見込み額について問う。

答弁 平成24年度は1,919万3千円。平成25年度は運輸収入増で金銭的支援なし。平成26年度も見込み目標額を上回る予想のため支援額はゼロとなる見込みである。

(市当局)

現在、小野高校生の約53%、小野工業高校生の約25%が神戸電鉄を利用している。なくてはならない大切な財産と考えるが、今後の乗生線について問う。

答弁 活性化のイベントなどを、し続ける事も大事だが、国、県の考えはどうなのか、という「経営戦略」として考えるべき時が来ているのではないかと。色んな方法があるが、それが表に出てきたら無関心から関心へと変わるだろう。

(市長)

交通事故防止対策について

質問 今年度11月末現在で、社警察署管内の交通事故3件はいずれも小野市内で発生しており、早急な対策が必要である。中でも夜光反射材をいかに利用するかが大切と考える。例えば夜光反射材を身に着けて「小野市安全安心きらきらナイトウォーキング」「夜歩くなら反射材。反射材無いなら夜歩くな」といったくらいの目標を小野市全体で考えても良いのではないかと。

答弁 議員の提案を参考に「夜歩くなら反射材、反射材無いなら夜歩かない」として、夜光反射材のPRに努めたい。

(市当局)

質問 来秋には小野警察署が開署するが、市民自らも交通安全に心がける事が、真の「住むならやっぱりおの」になると思うが考えを問う。

答弁 大池総合運動公園は「反射材を付けないと歩けない」くらいでも良いかも知れない。条例の検討を行う。

(市長)



市民クラブ

小林千津子 議員

観光と地域産業の振興について

質問 「大阪市の老人クラブ連合会」の小野市への観光誘致と、今後の地域産業振興に繋げるための取り組みについて。

答弁 今回の取り組みは、観光協会の会長のご尽力で、大阪市内二十四区老人クラブ会長会でのプレゼンや地道な営業活動の結果、今回の観光誘致に繋がりました。老人クラブ連合会の皆さんには「こだまの森」でのグランドゴルフ大会と「サンパテオおの」「オースト」での買い物。地元食材を使用した「誉田の館いろいろ」のお弁当、参加賞として提供した「きすみの営農組合の新米」の注文販売など、全てが大好評でした。今後とも地元産業と連携した観光PRに努めていく所存です。

(市当局)

子どもの交通安全対策について

質問 交通安全教育は登下校時の問題としてだけではなく、学校から帰ってから普段の生活に密着したものにすることがある。また、本年度から「小野市通学路安全プログラム」に基づき通学路を合同点検されているが、どのような内容か。

答弁 市内の人身事故件数を時間帯で見ると午前六時から八時までの間が多く、また四月から七月に集中しています。この分析結果を踏まえ、来年四月から夏休みに入るまでの1学期間「登校時早朝パトロール」を実施するよう検討しています。「小野市通学路安全プログラム」による定期的な合同点検は、4年ごとに各中学校区単位で、学校、道路管理者、警察など、関係機関が合同で事前報告のあった危険箇所を現地点検を行うこととしています。この現地踏査で確認された対策必要箇所については、学校ごとに「対策一覧」「対策箇所図」を作成し、順次公表する予定です。

(市当局)



日本共産党

藤原章 議員

介護保険事業の変更について

質問 「医療・介護総合確保推進法」によって要支援1・2の訪問介護と通所介護が自治体の事業になるが、市はどう対応するのか。

答弁 既存の事業者の他、「おの介護ファミリーサポート事業」の人材養成等で体制を充実させる。(市当局)

質問 「特養」への入所は要介護3以上になるが、特例はあるのか。

答弁 やむをえない事由があれば、特例入所対象者として判定委員会の判定で入所決定する。(市当局)

河合小中一貫教育について

質問 河合の小中一貫化は決定のブロセスや実施時期があまりに性急で、保護者の戸惑いや反対があるが、急いで実施する理由を伺う。

答弁 河合では中学校教諭が小学校に出向いて教科担任授業を行うなど、連携教育を10年行ってきた。一方、生徒数の減少で今年度、来年度と中

学校の教員は4名減少する。教員不足で連携も難しくなり、教育の質が低減する恐れが生じるため、いち早く小中一貫重点校としてスタートさせることにした。(教育長)

質問 バス通学児童の通学費は無料になった。JR通学児童の通学費を全額補助すべきと思うがどうか。

答弁 小中一貫教育に向けた整理課題の一つであり、他の学校区との均衡を十分考慮する。(教育長)

農業を守る施策について

質問 今年は戸別所得補償が半減された上に米価が暴落し、米作農家はダブルパンチになっている。小野市のコメを守るため、生産費補てん策など独自施策を講ずる考えはないか。

答弁 米価の下落については国の「収入減収影響緩和対策」があり、加入者は減収額の9割が、非加入の一般農家でも減収額の3分の1程度の補てんがある。市が独自施策としてコメの生産費補てんを実施することとは考えていない。(市当局)



市民クラブ

山中修己 議員

「かわいい快適の森」から南への延長計画について

答弁 お尋ねの「かわいい快適の森」の延長計画については、平成18年度に「かわいい快適の森ふれあい森づくり検討委員会」という組織を設置し、検討しました。土地所有者の同意が得られなかったこと、財源である県の里山整備事業が廃止されたことより、計画は実現しておりません。今後は「かわいい快適の森」の利用実態や地元の延長計画に対する熱意、協力の意向、国、県の里山整備に係る補助事業等について調査・検証していきます。(市当局)

白雲谷温泉「ゆぴか」リニューアル計画について

答弁 平成25年度及び26年度と2度にわたり、計画したが、不調に終わりました。原因は工事期間の短さ、

建設関係資材の高騰による調達困難、人員不足等です。当面は老朽化しているロッカー等最小限の修繕工事に留めます。(市当局)

グリーンピア三木の延田グループによる買収があり、不調で中止になったのは不幸中の幸いです。今後はグリーンピア等の改修を確認してから、検討します。(市長)

社会福祉法人に関する事務委託の廃止について

答弁 この制度の目的と内容は、「第2次地域主権改革一括法」により、県が所轄していた社会福祉法人の設立認可、定款変更の認可、届出の受理、監査等の業務を小野市の区域内のものについて、小野市が所轄庁となります。法人の設立認可については審査会を設けるので、法制や財務の職員、公認会計士等の有識者の参加も検討していきます。(市当局)



市民クラブ

前田光教 議員

粟田橋整備及び県道三木穴粟線拡張事業の進捗について

質問 工事の進捗、迂回路補修について問う。

答弁 橋台2基、橋脚2基で平成27年6月30日迄に下部工事を完了させ、幅員25m、歩道を含め10mの上部工事は、28年8月31日迄に完成予定として業者も決定した。業者から工事短縮の提案を求めるとして一日も早い開通を目指している。三木穴粟線も地権者の方々のご協力を得て、粟田橋開通に併せて供用を開始させたい。修繕が必要な迂回路は、時間帯を考慮し27年度で一部補修を実施する予定である。(市当局)

東播磨道整備事業の進捗について

質問 計画の進捗、地域の方々からの意見対応について問う。

答弁 本年度から現地測量に着手、27年度に予備設計、地元の皆様や関

係機関と協議した後、実施設計を行う。28年度からは用地交渉を開始し、地域の方々からの意見・要望である騒音や環境対策を踏まえ、用地取得完了区間から順次工事着手の予定である。平成33年度には完成の計画である。(市当局)

市制60周年を迎えた小野市の地方創生の理念について

質問 市の考え、高齢者との共生での地方創生について問う。

答弁 地方人口ビジョンの策定要請が先行しており、ゼロサム社会を想定する必要はある。市の強みを活かして、課題をチャンスに変え、未来志向で、長期的な視点に立ち「住むなら！やっぱりおの」が高齢者の方も実感できるような新たな価値観の創造に邁進することが重要であると考える。ひとつの施策として西日本最大のグランドゴルフ場は先行してすすめる。(市当局・市長)



市民クラブ

岡嶋正昭議員

農地の維持管理等について

質問 サンパティオおのへの農産物の出荷状況について

答弁 店頭販売額は、平成16年が約1.9億円。昨年は約1.2億円で、ピーク時の約三分の二に減少している。

質問 農地の維持管理について

答弁 農地の維持管理については、大規模農家や集落営農組合等の担い手を中心とする必要がある。しかし、農地を保全するには限界があり、小規模農家の役割も大変重要である。小規模農家が農業を続けていける仕組みづくりも必要で、また単に農業者だけが守るのではなく、そこに住んでいる全ての人たちが、自分たちの故郷を守り育てていく意識を醸成することが大切である。(市当局)

市営住宅建設への取組について

質問 アンケート結果について

答弁 浄谷団地入居者の回答者の7割強が「家賃が高くなっても建替え

後の住宅に住みたい」と回答。浄谷団地以外の入居者では約7割が廃止による住み替えに理解を示されているものの、その半数が地元での定住を希望されている。また、間取りへの希望は約7割の入居者が広い住宅を希望されている。(市当局)

中心市街地の活性化について

質問 空き店舗の活用について

答弁 空き店舗活用のため、小野商店街魅力アップ支援事業(店舗の改装や改修への補助金制度)を開始したが、新規出店者の希望に見合う空き店舗の提供が極めて少ない状況にある。(市当局)

質問 サンパークの整備について

答弁 当該公園は、地域づくり協議会や商店街のイベント時において本部として利用。平地部分が少なく利用しづらい状況にある。現在の親水施設を撤去し、多目的に利用できる広場としての再整備を含め、同協議会において整備の必要性、整備の内容、管理の方法等を十分に議論していただく必要がある。(市当局)



改革クラブ

井上日吉議員

安全で安心して暮らせるまちづくりについて

質問 防犯灯の設置状況について

答弁 本年11月末現在、約2500灯を設置しています。(市当局)

質問 町境の防犯灯、道路照明灯の設置状況について

答弁 町境の防犯灯の設置状況は、「町境防犯灯設置事業」の164灯、「町境防犯灯移管事業」の55灯、「学校周辺等防犯灯設置事業」の50灯で、計269灯を整備しています。また、市道における道路照明は、設置基準を満たした箇所は、現在約260基が設置されています。(市当局)

質問 防犯カメラの設置計画について

答弁 現在、駅周辺等に12基を設置しています。今後の設置計画ですが、神戸市で発生した児童の遺体が発見された事件から、社警察署より市内

16箇所は防犯カメラの設置要請があり、12月に補正予算を計上しました。また、次年度には「防犯カメラ設置補助金事業」の創設を検討しており、防犯カメラの設置を推進してまいります。(市当局)

認定こども園の取組について

質問 認定こども園の必要性和理念について

答弁 認定子ども園は、保護者の就労有無に関係なく利用できる利便性の高い施設と考えています。現在、市には公立の2幼稚園、14の民間の保育所があり、待機児童もなく、幼児教育、保育を行っています。今後、認定こども園化について総合的な評価や判断ができるよう、国、県、近隣市の動向を注視していきまします。なお、保育所が認定こども園に移行されるかどうかは、保育所が主体的、自主的に考え決定されることであると考えています。(市当局)



公明党

川名善三 議員

産後ケアについて

質問 小野市での取組状況について

答弁 すべての産婦を対象に原則として産後1か月、遅くとも2.5か月以内には、助産師又は保健師による新生児訪問や、4か月児健診までの間、乳児の発達や育児に不安がある方、産後うつ傾向にある方などのために「乳幼児育児相談」「スマイル相談」を定期的に行うなど、出産後における母子への支援を行っている。「産後ケア」は、産婦の産後の疲れを解消するとともに孤立化を防ぎ、助産師からの指導をうけることが、母親としての自覚と自信を持つことにつながる点で、大切な事業との認識のもと情報収集に努めている。

(市当局)

日常生活用具給付等事業について

質問 人工内耳装置への助成について

答弁 人工内耳装置が、補聴器では十分な装用効果が認められない聴覚障害者にとって、コミュニケーションを確保する唯一の手段で、大変重要なものであること。加えて、機器の交換には、高額な費用が必要となり、利用者の経済的負担が非常に大きいことなどに鑑み、支援策の実施方法などについて、来年度に向け検討を進めている。

(市当局)

ハートフルシティと16か年教育を行っている小野市が、どこよりも充実した「産後ケア」に対する助成制度、「人口内耳」に対する助成制度としての9割負担、個人負担1割の線に沿って制度を早急に詰めたい。

(市長)

《各常任委員会に付託された議案》

◎ 総務文教常任委員会 ◎

《12月24日開催》

付託議案数：6件

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



◎ 民生地域常任委員会 ◎

《12月19日開催》

付託議案数：1件

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

《12月24日開催》

付託議案数：14件

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



常任委員会審査報告

12月定例会の提出議案審査について、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、20議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。各常任委員会の審査結果は、次のとおりです。

会派行政視察報告（市民クラブ・公明党）

【市民クラブ】岡嶋正昭、高坂純子、藤本修造、前田光教、山中修己、小林千津子、山本悟朗
 【公明党】川名善三、竹内 修

(1) 平成26年11月10日(月)

滋賀県東近江市「コミセンのまちづくり協議会への指定管理について」

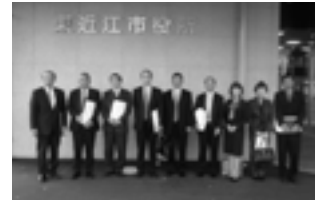
(人口：約11万6千人、面積：388.58km²)

《視察内容》

市民が自主的に参加し、地域課題を解決しながら、各地域の個性を生かした町づくりを行うため、各地区で「まちづくり協議会」が組織され、指定管理者制度での運営を行っている。メリットは、地域の施設を愛情を持って管理して貰える。仕様書以上の管理、美化が期待でき、それぞれの地域らしいコミュニティセンターとなっている。

《所感》

地域の昔の青年団の方々で、若いころに培った自由な発想による組織づくりや行動により、色々な活動を行うことで地域での連携を図っていき、元気に過ごせるまちづくりを担う活動をしている。これら元気な高齢者が、更に次につなげていくための後継者づくりが各地域においての課題のようでもある。



(2) 平成26年11月11日(火)

愛知県小牧市「認知症見守りネットワークについて」

(人口：約15万3千人、面積：62.82km²)



《視察内容》

高齢化の進展に伴い、支援を必要とする認知症高齢者が増加している。地域における認知症への理解を深め、地域で支える包括的な支援体制を構築することを目的として、「認知症見守りネットワーク構築事業」を整備している。

《所感》

介護予防事業で「いきいき元気塾、筋力アップのためのトレーニングマシン講習会、からだ元気アップ教室等々」に取組み、市民の方に「認知症」に対し、一人でも多くの方々が理解し関心を持っていただくことで、多くの「市民」の多くの「目」でもって市内の認知症患者を見守っていく大変に有難い取組みです。地域の患者さんを、地域で守る。これも失われ来つつある「地域」の大切な事業なのかと感じた次第です。

(3) 平成26年11月12日(水)

大阪府箕面市「全市立小中学校での美味しい給食の実施について」

「子育て応援幼稚園保護者補助金について」

(人口：約13万3千人、面積：47.84km²)

《視察内容》

○全市立小中学校での美味しい給食の実施について

農業振興(地産地消)を図り、小学校、小中一貫校、中学校の合計20校あり、平成25年9月より中学校を給食にしたことにより、全校完全給食。全て「自校調理方式」で行っている。

○「子育て応援幼稚園保護者補助金」について

待機児童が年々急増、前年比1.5倍。「待機児童0プラン」を策定し、平成23年度に保育所を2園増設。多様なニーズに対応するため、保育所以外の子育ての選択肢を拡充。

《所感》

学校給食で、多くが「自校調理方式」。アレルギー対策として108項目にわたる対策も実施。非常に大変な取り組みと感じたところ。特にアレルギー食については行政がどこまでの取組みをすべきなのか、リスクも踏まえ良く議論すべき問題点かと改めて感じる所です。



(4) 平成26年11月12日(水)

兵庫県篠山市「篠山市の観光行政について」

(人口：約4万4千人、面積：377.61km²)

《視察内容》

豊富な観光資源を有し、京阪神から約1時間の立地を生かした観光戦略。

- ・ 文化的資源：篠山城跡周辺の伝統的建造物群保存地区が市内に2か所(車塚古墳・丹波焼)
- ・ 食 資 源：丹波篠山黒豆 丹波篠山の芋 ポタン鍋
- ・ 催 し：篠山デカンショ祭り(56回)、丹波焼陶器まつり(31回)など

《所感》

「丹波篠山黒大豆」に代表するものがあるとしても、農業の維持の難しさが課題のようである。小野市では、これらの様な一流の特産品が無いなか農地の維持、振興をすることの難しさを感じたところ。また、逆に特産品が無いなか取組む方法において、「農地」「元気な高齢者」を活かすことにより、新しい農業の振興へと取組んでいけるのではないかと感じた視察でした。



◎ 議会の動き ◎

【11月】

- 2日 小野市美術展
- 7日 行政視察来市(愛知県半田市)
- 9日 市民文化賞・美術展表彰式
- 10日～12日 市民クラブ・公明党行政視察
(滋賀県東近江市、愛知県小牧市、大阪府箕面市、篠山市)
- 12日 行政視察来市(長崎県長崎市)
- 13日 行政視察来市(千葉県旭市)
- 15日 小野・加東住民大会(加東市)
 - ♪ ヤングジェネレーションフォーラム
- 17日 全国市議会議長会基地協議会理事会(東京)
 - ♪ 老人クラブ連合会体育祭
- 18日 行政視察来市(茨城県常陸太田市)
- 19日 行政視察来市(秋田県能代市)
 - ♪ 小野加東加西環境施設事務組合議会定例会
- 20日 金婚夫婦を祝う集い
 - ♪ 兵庫県連合自治会大会
- 21日 議会運営委員会
 - ♪ 市議会報編集委員会
 - ♪ 北播政経懇話会(加東市)
- 22日 男女共同参画センター10周年記念事業
- 24日 ひまわり杯ジュニアバレーボール大会
- 25日 北播衛生事務組合議会定例会
- 28日 12月定例会(第1日)
- 29日 ふれあいフェスティバル

【12月】

- 1日 市制施行60周年記念式典
- 4日 小野加東広域事務組合議会
- 7日 小野ハーフマラソン2014
- 12日 特別支援学校体力づくり発表会
- 13日 小野商店街「マツケンの大繁盛」
- 14日 市制60周年記念共催事業「On Gaeshi Project in 兵庫」
- 18日 12月定例会(第2日)
 - ♪ 議会運営委員会
- 19日 12月定例会(第3日)
 - ♪ 民生地域常任委員会
- 24日 総務文教常任委員会・民生地域常任委員会
 - ♪ 前知事県民お別れ会
- 26日 12月定例会(第4日)
 - ♪ 仕事納め式

【1月】

- 5日 仕事始め式
- 6日 新年交歓会
 - ♪ 小野金物卸商業協同組合新年会

- 8日 青野原駐屯地新春互礼会
- 10日 小野戎祭
- 12日 成人式
- 14日 行政視察来市(鹿児島県指宿市)
- 16日 小野匠工業会新年交歓会
- 17日 1.17のつどい阪神・淡路大震災20年追悼式典
- 20日 エイジ・ルネサンス・パーティ2015
 - ♪ 行政視察来市(北海道紋別市)
- 21日 市議会報編集委員会
 - ♪ 行政視察来市(兵庫県川西市)
 - ♪ 北播衛生事務組合定期監査(加東市)
- 22日 行政視察来市(神奈川県藤沢市)
 - ♪ 東播・淡路市議会議長会(加西市)
- 23日 宝塚市議会60周年記念シンポジウム
 - ♪ 国民健康保険運営協議会
- 28日 行政視察来市(岩手県花巻市)
- 29日 行政視察来市(滋賀県長浜市・米原市)
- 30日 自治体会計・監査研修会(神戸市)
 - ♪ 北播政経懇話会

ぜひ、傍聴にお越しください

3月定例会は、次の日程で開催いたしますので、ぜひこの機会に、議会の傍聴にお越しください。

3月定例会日程	2月26日(木) 午前10時～	本会議(第1日)
	3月11日(水) 午前10時～	本会議(第2日) ※一般質問実施
	3月12日(木) 午前10時～	本会議(第3日) ※一般質問実施
	3月26日(木) 午後1時30分～	本会議(第4日)

「託児コーナー」開設します

一般質問が行われる3月11日(水)、12日(木)の午前中は、「託児コーナー」を開設します。就学前のお子さまをお持ちの保護者のみなさんも議会の傍聴していただくことができます。ご希望の方は、2月27日(金)までに議会事務局にお申し込みください。

《お問い合わせ》 議会事務局 TEL63-1006 FAX63-4108

12月定例会の議決結果(賛否の分かれた案件)を公表します

賛成=○ 反対=● 欠席=欠

※藤本修造議員は、議長のため表決権はありません。

件名	会派名 (12月26日現在の所属人数) 議員名		市民クラブ (7人)					改革クラブ (4人)				公明党 (2人)		①無党派 (1人)	議決結果
	山中修己	藤本修造	岡嶋正昭	小林千津子	高坂純子	前田光教	山本悟朗	井上日吉	松井精史	加島淳	河島三奈	川名善三	竹内修	藤原章	
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び小野市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	※	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	可決